

第7回 介護・高齢部会 意見まとめ

		項目	委員	内容
意見	資料2	介護サービス等の見込みについて	石山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは過去の実績に基づいて推計することが主であったかと思うが、これまでの経験では想像できないことも多くなってきているため、過去にとらわれず計画を作っていく考え方も必要。
			菊池委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12ページの丸印の二つ目「今後は利用がないものとして推計しました」とあるが、利用が無いことの見込みはどこから来たのか不明確であることや、予防の段階でのサービス利用が多ければ重度になることを防げる可能性もあるのではないか。
			海老澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により平均寿命が下がっている。介護サービスを受けなくとも高齢期の生活設計や住環境などについて考えられるようにしていかなければならない。 ・介護人材不足に関して、今後団塊ジュニア世代が高齢化していくなかで、介護事業者の処遇改善や労務管理に係る支援を進めて頂きたい。
			築田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現場ではケアマネジャー不足が深刻化しており今後サービス利用が増加する中で新しいケアマネジャーが増えていくよう区独自の取組など検討頂ければと思う。 ・小規模多機能については、今後利用率をのばしていきたいとのことだがケアマネジャーが変わらずに利用できる制度改正などの敷居が高く、そのあたり今後利用のしやすさにつながればと思う。 ・30ページの住民主体サービスについて、見込量に対してその担い手が確保できるか、見込量をカバーするだけの人手が追いつかないのではないかと思うので、このあたり意識的に力を入れていく必要があると感じる。